

先進医療に関する説明書・同意書

(二段階胚移植)

1. 本治療の概要

二段階胚移植は、受精後 2, 3 日目頃の初期胚を移植することで、子宮内膜の胚受容能を高め、受精後 5 日目頃の胚盤胞がより高い確率で着床することを期待する方法です。

2. 方法

①新鮮胚移植の場合

体外受精で得られた受精卵を体外で 2~3 日間培養し、得られた初期胚 1 個を胚移植し、残った初期胚についてはさらに培養を 2~3 日間継続し（合計 5~6 日間）、得られた胚盤胞 1 個を胚移植します。

※受精卵の成長が停止した場合、受精卵は廃棄となり、二段階目の胚移植がキャンセルとなる可能性があります。

②凍結胚移植の場合

体外受精で得られた初期胚の一部を凍結保存し、残った初期胚の培養を継続し、得られた胚盤胞について凍結保存を行います。

保存された初期胚および胚盤胞を、翌周期以降に 2 日に分けて 1 個ずつ融解し、胚移植します。

※凍結受精卵を融解後に生存性が認められない場合、受精卵は廃棄となり、一段階目や二段階目の胚移植がキャンセルとなる可能性があります。

3. 対象となる方

良好胚を複数回移植しても妊娠に至らない方、胚盤胞移植にて妊娠に至らなかった方

4. 予測されるリスクおよび副作用

- ・検査中は一時的に多少痛みを伴うことがあります。
- ・検査後に少量の出血がみられることがあります。（通常は速やかに軽快しますが、数日持続する場合があります。）
- ・感染防止のため抗生物質を内服しますが、稀に骨盤腹膜炎等の感染症を生じる可能性があります。

5. 期待される効果

本治療により、妊娠成立の可能性が高まることが期待されます。

ただし、着床および妊娠成立を保証するものではなく、必ずしも臨床成績の向上につながるとは限りません。

6. リスク

胚を 2 個移植することで多胎妊娠になる可能性が高くなります。

7. 費用

120,000 円（非課税）

※本治療は先進医療であり、公的医療保険の適用外となります。

私達夫婦は、医師やスタッフからの説明と文書によって下記の事項について十分理解し、納得した上で、本治療の実施に同意します。

説明責任者 東京 ART クリニック 院長 小川 誠司
説明年月日 年 月 日 説明者 _____
同意年月日 年 月 日

住 所： _____

夫（診察券番号）： _____ 氏名（自署）： _____

妻（診察券番号）： _____ 氏名（自署）： _____

患者様控えは、大切に保管して下さい。